

【記入例】

採 用 者 給 料 査 定 書

太枠で囲んだところのみ記入する

平成9年1月1日以降の臨時的任用時の職員番号	※	※	職員番号 氏 名	319367 和歌山 太郎			
令和8年4月1日現在の満年齢	生年月日	昭和・平成55年 8月13日生 45歳					
高等学校から記入、大学は専攻学科まで	修 学 歴	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数
		〇〇高等学校 普通科	H11年 3月 卒・修	3年		年 月 卒・修	年
		〇〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	H16年 3月 卒・修	4年		年 月 卒・修	年
浪人、留年、留学の期間も職歴欄(1行目)に入れる	職 歴	勤務場所(職務内容)		期 間	勤続年数		
		浪人		H11年 4月~H12年 3月	1年 月		
アルバイトか正式かを記入する		〇〇株式会社(正式)		16年 4月~20年 3月	4年 月		
臨時的任用の場合は「講師」と記入する		〇〇小学校(講師)		20年 4月~20年 7月	年 4月		
		在家庭		20年 8月~20年 8月	年 1月		
		〇〇小学校(講師)		20年 9月~21年 3月	年 7月		
非常勤講師で同じ期間に2校以上勤務した場合		〇〇商事(派遣社員)		21年 4月~22年 3月	1年 月		
		〇〇高等学校(非常勤講師週2h)		22年 4月~23年 3月	1年 月		
		〇〇高等学校(非常勤講師週6h)		年 月~年 月	年 月		
非常勤講師の場合は1週間あたりの授業時間数を記入する		〇〇高等学校(非常勤講師週8h)		23年 4月~24年 3月	1年 月		
	〇〇高等学校(初任研補充月1日)		年 月~年 月	年 月			
	〇〇中学校(講師)		24年 4月~25年 3月	1年 月			
	在家庭		25年 4月~27年 9月	2年 6月			
	〇〇中学校(講師)		27年 10月~R8年 3月	10年 6月			
月1日の初任研補充も記入する	合 計			23年 月			

戸籍上の氏名を正確に記入する

正規の修学年数を記入する

- 職歴は、卒業から令和8年3月31日まで、途切れることなく記入する。浪人も職歴として記入する。
- 月の途中まで在家庭で、その後採用された場合、その月は採用の勤務期間に入れる。
- 月の途中で退職し、その後在家庭の場合、その月は退職した職の勤務期間に入れる。
- 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用の勤務期間に入れる。
- 職歴を1枚に記入しきれない場合は、2枚目以降を用意し続きを記入する。その際、すべての用紙に記名のうえ、右上をステープラー留めする。